

甲斐市議会厚生環境常任委員会会議録

1. 開催日時 平成29年7月12日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

出席委員（6名）

委員長	五味武彦君	副委員長	金丸幸司君
	清水正二君		米山昇君
	池神哲子君		樋泉明広君

欠席委員（1名）

山本英俊君

傍聴議員（7名）

横山洋介君	斉藤芳夫君
有泉庸一郎君	長谷部集君
内藤久歳君	藤原正夫君
保坂芳子君	

説明のため出席した者の職氏名

市民部長	望月映樹君	福祉部長	三澤宏君
子育て健康部 部長	小宮山正美君	保険課長	加藤文雄君
福祉課長	齊藤一己君	長寿推進課長	飯沼秀司君
子育て支援課 長	島田伸君	福祉総務係長	鷹野美穂君
介護保険係長	山田郁子君	保育係長	塚田英仁君

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	岩下和也	書記	興石文明
--------	------	----	------

書 記 小 澤 裕 一

内容

- 1 松島保育園移設建替事業について（現地視察）（子育て支援課）
- 2 甲斐市地域密着型サービス施設整備事業について（現地視察）（長寿推進課）
- 3 平成29年度国民健康保険税の本算定について（保険課）
- 4 その他（福祉課）

開会 午後 1時24分

○書記（小澤裕一君） 改めまして、こんにちは。

ご参集、大変お疲れさまです。

ただいまから厚生環境常任委員会を開会いたします。

本日の委員会は、初めに委員長よりご挨拶をいただき、引き続き委員長の進行により議事を進めてまいります。

それでは、五味委員長、よろしくお願いいたします。

○委員長（五味武彦君） お疲れさまでございます。

当初は、内容の3と、その他ぐらいいしかなかったのですが、どうせ出てくるのであればいろんなところをちょうど見てみたい、聞きたいということで、現地のほうへ行くということ今回入れました。

天気も35度まではいかないのでいいと思います。外へ出たいというふうに思います。ただ暑いので、気をつけて参加していただければと思います。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

ただいまの出席委員は6名です。定足数に達しておりますので、これより厚生環境常任委員会を開会いたします。

なお、山本英俊委員は欠席の連絡がありました。報告いたします。

なお、本日は委員外議員の傍聴を許可いたしますのでご承知おきください。

○委員長（五味武彦君） 質疑は、委員の質疑を受けた後に傍聴議員の質疑を受けたいと思います。

傍聴議員の質疑は、さきの申し合わせのとおり、会派の割り当て人数により行います。

質問は1問とし、再質問は1回までとさせていただきます。

これより、次第3の内容に入ります。

（1）松島保育園移設建替事業について及び（2）甲斐市地域密着型サービス施設整備事業については一括で行います。

両件は現地視察を行いたいと思います。

お手元の派遣計画（案）をごらんお願いいたします。派遣計画のほうです。

ここでお諮りいたします。お手元に配付した派遣計画書（案）により委員を派遣することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） ご異議なしと認めます。

よって、計画書のとおり派遣することに決定いたしました。

なお、派遣承認申請は委員長において作成し、議長に提出したいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） ご異議なしと認めます。そのようにさせていただきます。

それでは、順次担当より説明を受け、現地に移動したいと思います。

まず、松島保育園移設建てかえ事業について担当より説明をお願いいたします。

島田子育て支援課長。

○子育て支援課長（島田 伸君） お疲れさまでございます。

子育て支援課から松島保育園移転建てかえ事業につきまして説明をさせていただきます。

お手元の資料の、別冊資料1ページになります。

松島保育園移転建てかえ事業についてをごらんください。

1、経緯であります。

甲斐市立松島保育園の老朽化、園庭等を借地している現状を踏まえ、子育て世代の多様化する保育ニーズへの対応、サービスの充実を図るため、民設民営による移転建てかえ事業を進めており、昨年度は保育園の建設、運営を行う法人を募集し、応募があった4法人の中から書類審査及びプレゼンテーションを経て、地域に根差した法人を選定いたしました。

今年度は保育園移転建てかえ予定地の周辺整備工事を計画しております。

次に、2、選定法人であります。

ことし1月10日の委員会において、選定における詳細について説明させていただいておりますが、選定した法人名は、社会福祉法人さくら会。理事長、桜林幹夫。所在地は甲府市宮原町1191。運営実績であります。平成27年度から甲斐市立竜王西保育園の指定管理を運営しております。また、甲府市内で特別養護老人ホーム風林荘ほか運営をしております。

次に、3、今後の予定でございますが、平成29年度は宮地区自治会役員会第1回を6月

26日に開催しましたが、随時行います。松島保育園保護者説明会及び引き継ぎ保育を行ってまいります。また、11月を予定しておりますが、松島保育園移転建てかえ周辺整備としまして、擁壁改修工事、水路改修工事を行います。これは現地にて確認をさせていただきます。

平成30年度は厚生労働省の保育所等整備交付金の協議を進めます。また、法人による新園舎建設及び外構工事の着工、完成。また、引き継ぎ保育、宮地区自治会役員会、松島保育園保護者説明会を随時開催いたします。

平成31年度は新保育園が開園となります。また、現園舎の解体工事を行います。

次に、4、事業費等でございますが、(1)平成29年度 松島保育園移転建てかえ周辺整備事業、予算額は1,200万1,000円。擁壁改修及び水路改修工事であります。

(2)平成30年度 法人が行う園舎等建設に伴う厚生労働省整備交付金、これは補助限度額園舎本体工事のみでありまして、2億8,360万円。

財源は国が2分の1、1億4,180万円、市と法人がそれぞれ4分の1の7,090万円となります。

これから確認していただきます場所は、敷島地区中下条の1839番地と、1840番地4、面積は3,487.45平方メートル、約1,055坪であります。

資料の2ページから5ページにつきましては、現地にて説明をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

以上でございます。

○委員長（五味武彦君） ありがとうございます。

続きまして、甲斐市地域密着型サービス施設整備事業について担当より説明をお願いいたします。

飯沼課長。

○長寿推進課長（飯沼秀司君） お疲れさまでございます。

それでは、長寿推進課から甲斐市地域密着型サービス施設整備事業についてご説明を申し上げます。

別冊資料の6ページをお願いいたします。

まず初めに、経緯でございます。

計画期間を平成27年度から本年度までの3年間とする、第7次高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画に基づきまして、昨年度、地域密着型特別養護老人ホームと認知症グ

グループホームの事業者を応募し、事業者を選定しております。今年度中に施設整備を完了し、開設をする予定でございます。

次に、選定事業者でございます。社会福祉法人泉茅会でございます。特別養護老人ホームめぐみ荘、グループホームめぐみS I N C E 2004などを運営しております。

建設する施設につきましては、定員29人の地域密着型特別養護老人ホームと、定員18人のグループホームの併設でございます。

建設予定地につきましては、7ページをお願いいたします。

双葉地区、葦崎消防署双葉分署の南側でございます。

また、8ページは建物の平面図となります。8ページをお願いいたします。

施設は全て木造平屋建て。特別養護老人ホームの面積は1,024平米、グループホーム541平米など、施設の延べ床面積は1,736.2平米でございますけれども、現地で後ほどご説明を申し上げます。

6ページにお戻りください。

介護保険におけますサービス種別は、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護と、認知症対応型共同生活介護であります。

今後の予定でございますが、今月25日に施設建設工事の入札を泉茅会において実施いたします。今月下旬に施設整備に係る補助金申請を行い、8月中旬の補助金の交付決定を待ちまして、建物本体の工事に着手する予定でございます。

また、職員募集、職員研修、備品購入費等を対象といたしました開設準備補助金は開設の半年前から申請可能となりますので、9月以降の補助金交付決定によりまして開設準備を行います。そして、平成30年3月工事完了、施設開設の運びとなります。

次に、補助金の額でございます。特別養護老人ホームの補助単価は、1ベッド当たり427万円でございます。こちらは29床でございますので、427万円掛ける29床で1億2,383万円となります。

次に、グループホームにつきましては、補助単価は1施設でございます。3,200万円でございます。

また、特別養護老人ホームを他の施設と併設する場合には、特別養護老人ホームの補助金に対しまして5%加算がされますので、1億2,383万円の5%です。619万1,000円が加算されることとなります。

また、開設準備等の事業費の補助金でございますけれども、こちらは特別養護老人ホーム、

グループホームともに1ベッド当たり62万1,000円の補助単価でございますので、全てで47床でございますので、合計しますと2,918万7,000円となります。補助金の合計でございますけれども1億9,120万8,000円の見込みとなっております。

この補助金につきましては、国から交付されたものを一旦県の基金に積み立てまして、県から交付されます。補助率は10分の10でございますので、市の負担はございません。

補助対象となります施設建設工事は8月以降となる予定でございますけれども、現在はそれ以外の増設工事を行っております。本日は、委員の皆様には建設予定地のご確認をいただくとともに、造成工事の状況を現地視察していただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

以上で、資料の説明を終わらせていただきます。

○委員長（五味武彦君） ありがとうございます。

質疑につきましては、現地視察の後、委員会室に戻ってから行います。

事務局どうぞ。

○議会事務局長（岩下和也君） まず初めに、コースの説明をさせていただきます。

まず初めに、松島保育園の予定地に行きまして、その後、地域密着型サービス施設整備事業の予定地に移動いたします。

以上です。

○委員長（五味武彦君） 松島へ行って、双葉のほうというふうな格好になります。

ここで暫時休憩といたします。

休憩 午後 1時37分

再開 午後 2時58分

○委員長（五味武彦君） 会議を再開いたします。若干二、三分早いんですけれども、再開させていただきます。

現地視察お疲れさまでございました。

初めに、松島保育園移設建てかえ事業について質疑を行いたいと思います。

委員より質疑ありましたら、お願いいたします。

松島保育園移設建てかえ事業についての質問、委員の方ございますか。

[発言する者なし]

○委員長（五味武彦君） ないですね。よろしいですか。

なければ傍聴議員の質疑ございますか。

内藤議員。

○議員（内藤久歳君） 松島保育園のあそこで園児のバスがあるじゃないですか、送迎バス、園児なかったっけ。園児の送迎はなかったっけ。

○委員長（五味武彦君） 島田課長。

○子育て支援課長（島田 伸君） 敷島幼稚園時代はございましたが、保育園にはバスは1台もございません。

○議員（内藤久歳君） なかったっけ。そうかそうか。わかりました。

○委員長（五味武彦君） ほかございますか。

[発言する者なし]

○委員長（五味武彦君） なければ傍聴議員の質疑も終了いたします。

以上で松島保育園移設建てかえ事業についてを終わります。ご苦労さまでした。

次に、甲斐市地域密着型サービス施設整備事業について質疑を行います。

委員より質疑ありましたらお願い致します。

金丸副委員長。

○委員（金丸幸司君） 1点だけですけれども、9月以降に職員の募集を行うというんですけれども、これ何人くらい募集をかけ、なっているのかお伺いします。

○委員長（五味武彦君） 飯沼課長。

○長寿推進課長（飯沼秀司君） 申しわけございません、職員の募集の詳細についてはちょっと報告を受けておりませんので、次回の委員会の席でご報告させていただきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

○委員長（五味武彦君） 次回の報告ということで、お願ひいたします。

ほかございますか。

[発言する者なし]

○委員長（五味武彦君） ないようですので委員の質疑を終了いたします。

続いて、傍聴議員の質疑許します。

ありましたか。

斉藤議員。

○議員（齊藤芳夫君） 見てきたら、開発で掘って出てきたようなものが低いところに置いてあったけれども、当然、何も言わないでも適切な処置をすると思うんだけど、何か木の根っこみたいなものが相当あったんで、埋め戻しに埋めちゃうには非常に問題があると思うんだけど、何か聞いていますか、処分の仕方は。

○委員長（五味武彦君） 飯沼課長。

○長寿推進課長（飯沼秀司君） お答えいたします。

あそこの木々につきましては、その土地にあったものを伐採してあそこに置いてあるという事なんですけれども、その処理方法については詳細なことは報告を受けておりませんが、また適切に処理をするように指導をしてまいりたいと思います。

以上でございます。

○委員長（五味武彦君） 齊藤議員。

○議員（齊藤芳夫君） 認識違ったら、埋まっていたんじゃないかと、立ち木だったんですか、あれは。

○委員長（五味武彦君） 飯沼課長。

○長寿推進課長（飯沼秀司君） 立ち木だったというふうに理解しております。

○委員長（五味武彦君） ほかございますか。

内藤議員。

○議員（内藤久歳君） 先のことになると思うんですけど、募集の要項とか、その方法とか、それのところについては当然、泉茅会がやると思うんですけど、その辺の流れとか、それはどんなぐあいになっているんですか。

○委員長（五味武彦君） 飯沼課長。

○長寿推進課長（飯沼秀司君） 先ほども申し上げましたけれども、職員募集ですとか、職員研修につきましては、補助対象となるということでございますけれども、これは開設の半年前からでないとその補助対象にはならないということでございまして、その点につきましては募集の方法ですとか、そういったものについては泉茅会のほうで進めてまいりたいと思いますので、市としましても、3月に無事に開設ができるように指導してまいりたいというふうに考えております。

以上でございます。

○委員長（五味武彦君） 内藤議員。

○議員（内藤久歳君） ということは、もう全部そういう募集から、当然運営そのものは全部

泉茅会のほうで進めてということで、市はそういう点については関与はしないと、基本的にはしないとということだね。

○委員長（五味武彦君） 飯沼課長。

○長寿推進課長（飯沼秀司君） そのとおりでございます。

○委員長（五味武彦君） いいですか。ほかございますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（五味武彦君） なければ傍聴議員の質疑も終了いたします。

以上で、甲斐市地域密着型サービス施設整備事業についてを終わります。

次に、子育て支援課及び長寿推進課関係のその他を行います。

両課から報告等ございますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（五味武彦君） ないですね。

なければ、子育て支援課及び長寿推進課関係で、委員より特にお聞きしたいことがありましたらお願いいたします。

〔発言する者なし〕

○委員長（五味武彦君） 委員の方、ございませんね。

以上で、子育て支援課及び長寿推進課関係のその他を終了いたします。

ここで暫時休憩とし、職員の入替えを行います。

休憩 午後 3時05分

再開 午後 3時06分

○委員長（五味武彦君） 会議を再開いたします。

次に、（3）平成29年度国民健康保険税の本算定について、当局の説明をお願いいたします。

加藤保険課長。

○保険課長（加藤文雄君） それでは保険課から、平成29年度甲斐市国民健康保険税の本算定の結果につきましてご説明をいたします。

資料の1ページをお願いいたします。

6月9日に開催されました国民健康保険運営協議会におきまして、国民健康保険税率を現行税率に据え置くことにつきまして諮問いたしましたところ、諮問どおり決定する旨、答申をいただきました。このことから、本年度も税率を改正せず、据え置くものと決定をいたしました。

まず第1表、国民健康保険税率は本年度の税率となります。昨年度と同じ税率でございます。

表の2番目、2の国民健康保険税額（現年）は、この税率で算定をいたしました国民健康保険税の調定額及び収入見込み額でございます。

国民健康保険税は一般被保険者と退職被保険者に分かれ、それぞれ医療保険分、後期高齢者支援金分、介護保険分がございます。このうち、介護保険分は40歳以上65歳未満の方が対象となります。また、退職被保険者は平成26年度末で廃止となりました退職者医療制度に該当していた60歳以上65歳未満の被保険者の方が対象で、65歳に到達しました時点で一般被保険者に移行することから、被保険者は年々減少いたしまして、31年度末で対象者はなくなります。

表の下から2段目の太字の本算定合計欄をごらんください。

国民健康保険税額の合計となります。

調定額17億8,510万7,000円に予定収納率91.27%を掛けた収入見込み額は、16億2,926万7,000円となりました。収納率は一般被保険者よりも退職被保険者が高い傾向にあることから、退職被保険者の収納率を若干高く見込みまして、一般被保険者と退職被保険者の合計で91.27%として収入見込み額を算定しております。

収入見込み額を昨年度の本算定値と比較しますと、約7,860万円の減少となりました。これは、被保険者数の減少等によるものでございます。また、本年度当初予算の国民健康保険税現年分に対しまして3,270万ほどの不足となっておりますが、前年度からの繰越金などによりまして、国民健康保険特別会計の財政運営が可能であると考えております。

なお、今後も療養給付費並びに保険支出金等の動向に注意をいたしまして、運営をしてまいります。

参考としまして、真ん中以下の表のほうをごらんください。

まず、真ん中の本算定時の世帯数、被保険者数の状況でございます。世帯数1万683世帯、被保険者数1万7,889人となり、ともに前年度よりも減少という傾向となっております。

次に、その下の調定額の状況でございますが、1人当たり調定額は9万9,788円、前年度

に比べまして694円の減少、1世帯当たり調定額は16万7,098円、4,358円の減少となっております。これは所得の減少と、軽減対象範囲の拡充によるものと思われま

す。また、国民健康保険税の軽減の状況は、医療保険分と後期高齢者支援金分の軽減世帯数で5,620世帯、73世帯の減少、介護保険分で2,255世帯、162世帯の減少となっております。医療分と後期高齢者支援金分の軽減世帯の割合は0.8%増加いたしまして、52.6%が軽減世帯となりました。軽減額の合計は2億8,328万円となり、前年度より約790万円の減少となっております。

最後に、国民健康保険税の限度額超過の表でございますが、医療保険分と後期高齢者支援金分の課税限度額は前年度と同額の医療保険分54万円、後期高齢者支援金分19万円、介護保険分16万円の合計で89万円となっております。

今回、限度額を超えた世帯数は、医療保険分が222世帯、後期高齢者支援金分が126世帯、介護保険分が93世帯となっております。限度額、超過額の合計は1億3,510万円となり、4,614万円で、2.55%の減少となりました。

以上が今年度の本算定の状況となっております。よろしくお願いいたします。

○委員長（五味武彦君） 説明が終わりました。

これより、委員の説明に対する質疑を行いたいと思います。

質疑ございますか。

大分数字が多いんで。

米山委員どうぞ。

○委員（米山 昇君） 今、本算定、ことしは据え置きということで、数字は説明されましたが、収納率が91.27%ということで計算されているようですが、7,000万ほど昨年に比べれば減っていますが、医療費見込みに対してこれでももちろん賄えるということだろうと思いますが、見込み額はどのくらいを予定していますか。

○委員長（五味武彦君） しばらくお待ちください。

加藤課長。

○保険課長（加藤文雄君） 今年度の医療給付費ですが、総額でおおむねになります50億円ほどを見込んでおります。

○委員長（五味武彦君） 米山委員。

○委員（米山 昇君） 50億のうち、いわゆる税で賄う分というんですか、それは見込みで、この予算額でももちろん足りているという。

○委員長（五味武彦君） 加藤課長。

○保険課長（加藤文雄君） 前年度滞納繰越分を合わせまして18億円となっております。そのうちの現年分がこちらの算定結果となっております。

○委員長（五味武彦君） 米山委員、どうぞ。

○委員（米山 昇君） 予算額に対して調定額が、収入見込み額が4,000万か3,000万ちょっとぐらい少ないですよ。これはあれですか、いわゆる医療費のほうも減るだろうと、もちろん何か対象者も減っているということのようですからですが、医療費は、だけど年々伸びているようなことも伺っていますけれども、その中で賄えると、予算額よりも低い算定額となるけれども大丈夫だということで据え置きなのか。その辺はいかがですか。

○委員長（五味武彦君） 加藤課長。

○保険課長（加藤文雄君） 今、おっしゃられましたとおり、1人当たりの医療費としては年々増加する傾向となっておりますが、全体では被保険者数が減っているということ、それから、前年度からの繰越金が今年度もございましたので、十分賄えるものと考えております。以上です。

○委員長（五味武彦君） ほかがございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） なければ、委員の質疑を終了いたします。

続いて、傍聴議員の質疑を許します。

質疑ございますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（五味武彦君） なければ、傍聴議員の質疑も終了いたします。

以上で、（3）平成29年度国民健康保険税の本算定についてを終了いたします。

次に、保険課関係のその他を行いたいと思います。

保険課から何か報告ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） なければ、保険課関係で委員より特に聞きたいことがあればお願いいたします。

ありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） なければ、以上で保険課関係のその他を終了いたします。

ここで暫時休憩としまして、職員の入れかえを行います。

ご苦労さまでした。

休憩 午後 3時17分

再開 午後 3時17分

○委員長（五味武彦君） 会議を再開いたします。

次に、福祉課関係のその他を行います。

福祉課から報告がありますので、説明を求めます。

三澤福祉部長。

○福祉部長（三澤 宏君） こんにちは。

職員の不適正な事務処理事件にかかわります懲戒処分が行われましたので、ご報告させていただきたいと思います。

処分の内容等につきましては、既に7月の3日、議会事務局より全議員様宛てにファクスが送付されておりますが、改めて、当委員会におきまして報告させていただくものであります。

事件の内容等につきましては、5月11日の全員協議会等におきまして説明させていただきましたが、臨時福祉給付金経済対策分の事業費補助金の交付申請におきまして、福祉課職員が十分な確認を行わなかったため、補助金申請時期を誤り、本来であれば国から交付されるはずであった費用の一部を市が補填しなければならない事態となりました。

また、管理監督者は適切な指導ができず、事件の発生を防ぐことができなかったものであります。

処分式は7月3日の午前中に行われまして、給付金業務を担当していました福祉課に在籍する44歳の係長、同じく福祉課に在籍する41歳の副主幹、また、平成28年度福祉課に在籍し、現在、双葉支所市民地域課に在籍する30歳の主任の3人が減給10分の1、1カ月の処分。平成28年度福祉課長で、現在、教育総務課の課長は、指導に適正を欠いていたとして戒告の処分となりました。

今後は、この事態を厳粛に受けとめ、二度とこのようなことが起こらないよう再発防止に努めてまいります。

大変申しわけありませんでした。

○委員長（五味武彦君） 説明が終わりました。

これより、説明に対する委員の質疑を行いたいと思います。

質疑ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） なければ、委員の質疑を終了いたします。

続いて、傍聴議員の質疑を許します。

ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） なければ、傍聴議員の質疑も終了いたします。

次に、そのほか福祉課関係で委員より特に聞きたいところがあればお願いいたします。

ございますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（五味武彦君） ないようですので、以上で福祉課関係のその他を終了いたします。

ここで暫時休憩とし、職員が退席をいたします。

お疲れさまでした。

休憩 午後 3時20分

再開 午後 3時21分

○委員長（五味武彦君） 会議を再開いたします。

引き続き、次第4、その他に入りたいと思います。

ここで、今年度実施する各種団体との意見交換会について協議したいと思います。

お手元に厚生環境常任委員会が所管する、関係行政委員等一覧表が配付してあると思います。委員の皆さんより提案、ご意見をあればお伺いしたいと思います。

1番から21番まで団体名があります。それから下のほう、21年度から28年度対象の団体名、実施日時等と内容等が出ております。特に1から21の中で、この団体等ちょっといろいろ話を聞きたいというところがあればお伺いしたいと思います。

清水委員。どうぞ。

○委員（清水正二君） 地域包括支援センターとか運営協議会の委員さん17名ですか、そういったものとか、自立支援の認定審査会とか、もうちょっとこう、そこら辺の包括支援とかそういったところの内容的なものにか、あとはネウボラの推進協議会とか、出たばっかなんだけど、個人的にはそこら辺のあたりがいいと思う、大まかには大筋的には委員長に一任。

○委員長（五味武彦君） 確認しますけれども、清水委員のおっしゃるのは、11と、16と21どちらかということ。

ほかございますか。

じゃ、先に池神委員どうぞ。

○委員（池神哲子君） 子ども・子育て会議委員というのがありますね。それと、もう一ついいですか、19番、在宅医療・介護連携推進協議会、これ2つお願いします。

○委員長（五味武彦君） どちらかというどどちらでしょう。2つのうち。

○委員（池神哲子君） 介護。

○委員長（五味武彦君） 下のほう。19番のほうですね。

米山委員はどうですか。

○委員（米山 昇君） そうですね、例えば条例の審議会の委員さんとか、法令で決まっているようなことは多分そういう特別なものを市のほうからの審議を応じるというような形でやっていると思いますので、自分達でもやっている、ある程度自由に活動しているというかそういうようなところがいいんじゃないかと思ひまして、今言った、例えば24番の子ども・子育てとか、16番の地域包括もいいですし、在宅医療も21番もいいですし、19番もいいですし、3番の不法投棄の監視員なんかもどうなのかという、そんなようなところから選んだらいかがかと、意見です。

○委員長（五味武彦君） わかりました。

たくさん出てきました。

3、11、14、16、19、21かな。そのぐらいだと思います。

これはいいですね、これはなし。11を除いた、今言った中から考えたいというふうに思います。

私どもから言っただけだと、民生児童委員さんが大体何か二、三年ごとにやっているんですが、別にこれにこだわることはないと思いますので。

そのほか意見がありますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（五味武彦君） なければ次回、私どものほうから、今、おっしゃっていただいた候補の中から1つ選ばさせていただくと。もちろん相手方のこともありますので、それも勘案してやるということです。

開催時期は毎年10月というふうなことなので、各委員会との調整もあると思いますが10月を予定しているということです。

それでは。

米山委員どうぞ。

○委員（米山 昇君） 今言ったことでいいと思うんですけども、意見交換会の実施状況というの、今ここに下のほうに書いてありますけれども、例えばこの私立保育園の園長とか、ファミリーサポートセンターの会員とか、児童館の母親クラブの代表者というような、こういういわゆる自主団体みたいなものがありますよね。この上のほうにそういう団体入っていないんですよ。入っていたかね。書いてないだよね。だから、余り上のこの行政委員とかそういうこだわらないで、そういう関連団体というか、そういうところも対象にして、今回は別に今たくさんあったから、だから結構ですが、行政委員にこだわらずに検討したほうがいいかと思いますが、一応。

○委員長（五味武彦君） 私のほうから、そのお答えということで、委員さんのおっしゃるとおりだと思います。

もし、各種団体の中で、これ以外のところで議会とか話をしたいというふうなところがもしあれば、それをまず拾い上げる部分もあるし、今の1から21の中から選ぶ場合もあるというふうなダブルキャストでいきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは、意見交換会の詳細につきましては、次回、私のほうから提案をさせていただくことに決定でよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） お願いします。

そのほか、委員よりその他何かありましたらお願いいたします。

〔発言する者なし〕

○委員長（五味武彦君） なければ、事務局よりその他、何かありましたらお願いいたします。

〔「ありません」と発言する者あり〕

○委員長（五味武彦君） ありませんか。

そのほかなければ、その他も終了いたします。

以上をもちまして、本日の日程は全て終了いたしました。
これをもちまして厚生環境常任委員会を閉会といたします。
ご苦労さまでした。

閉会 午後 3時29分